



平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年6月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 マルヨシセンター

コード番号 7515 URL <http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐竹 文彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 吉田 博三

TEL 087-874-5511

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	9,867	△10.5	66	△62.6	16	△81.9	△2	—
22年2月期第1四半期	11,021	—	176	—	93	—	54	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	△0.36	—
22年2月期第1四半期	6.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	21,583	2,568	11.9	307.92
22年2月期	21,024	2,596	12.3	311.30

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 2,568百万円 22年2月期 2,596百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	—	—	3.00	3.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	20,800	△6.3	320	△15.6	159	△27.2	73	△38.5	8.75
連結累計期間	40,800	△4.6	635	△5.9	313	△19.1	143	△14.6	17.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 8,749,990株 22年2月期 8,749,990株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 409,303株 22年2月期 409,303株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年2月期第1四半期 8,340,687株 22年2月期第1四半期 8,407,020株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成22年4月14日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において変更ありません。

2.本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当期の経営成績)

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一昨年来の景気低迷が継続する中で、雇用ならびに所得環境は回復せず、先行き不安感を背景として引き続き個人消費は低調に推移しました。

スーパーマーケット業界におきましても、生活者の生活防衛意識や低価格志向により消費の減退が前期後半から続いております。また、競合店の出店も相次いでおり、さらに当四半期は雨が多く天候不順が続き、厳しい経営環境となりました。

このような状況の下、当社グループは顧客の消費動向の変化に対応すべく、顧客の低価格志向への対応だけでなく、健康とおいしさやその季節の旬の商品を訴求するとともに、競合他社にない価値を持った独自商品の展開をすすめてまいりました。また、これらの商品及び売場展開を具体的に“見える化”するために、3月には国分寺店（高松市）の大規模改装を行ないました。販管費等の低減においては、配送ルートの見直しによる物流コストの改善、家賃の引き下げ、省エネルギー機器の導入等による光熱費の削減等をすすめてまいりました。

このような取り組みの結果、当連結会計期間の売上高は97億36百万円（前年同期比10.6%減）となりました。同様に営業利益は国分寺店の大規模改装等の一時費用の発生もあり66百万円（前年同期比62.6%減）、経常利益は16百万円（前年同期比81.9%減）、当期純損益は2百万円の四半期純損失（前年同期比57百万円の悪化）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、現金及び預金が3億3千万円、商品が1億6百万円増加したことなどにより、前期末に比べ4億76百万円増加の39億42百万円となりました。

有形固定資産は、前期末に比べ89百万円増加し、147億63百万円となりました。無形固定資産は前期末に比べ微増の4億84百万円となりました。

投資その他の資産は、繰延税金資産が13百万円減少したことなどにより、前期末に比べ8百万円減少の23億92百万円となりました。

(負債)

負債は、前期末に比べ5億86百万円増加し、190億14百万円となりました。その主な内訳は、前期末日が銀行の休業日であったため、買掛金が5億15百万円減少した一方、長期、短期合わせた借入金が11億16百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前期末に比べ28百万円減少し、25億68百万円となりました。その主な内訳は利益剰余金が28百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローについては、財務活動により10億89百万円増加いたしました。営業活動により5億34百万円、投資活動により6億77百万円減少いたしました。この結果、現金及び現金同等物は1億22百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末残高は8億54百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動による資金の減少は5億34百万円となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純利益は5百万円でしたが、キャッシュ・アウトを伴わない減価償却費1億77百万円の増加の一方、前期末日が銀行の休業日であったため、仕入債務が5億15百万円、未払金が1億37百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は6億77百万円となりました。その主な内訳は、定期預金の預入4億73百万円、有形固定資産の取得による支出2億17百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動による資金の増加は10億89百万円となりました。その主な内訳は、長期、短期合わせた借入金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しにつきましては、平成22年4月14日発表の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,477,048	1,146,120
売掛金	75,276	62,493
商品	2,043,791	1,937,088
繰延税金資産	94,136	82,893
その他	251,857	236,605
流動資産合計	3,942,110	3,465,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,478,027	16,407,385
減価償却累計額	△9,817,538	△9,773,057
建物及び構築物(純額)	6,660,488	6,634,328
機械装置及び運搬具	1,695,583	1,669,099
減価償却累計額	△1,416,543	△1,406,369
機械装置及び運搬具(純額)	279,040	262,730
工具、器具及び備品	2,499,949	2,511,789
減価償却累計額	△2,036,550	△2,064,756
工具、器具及び備品(純額)	463,398	447,033
土地	7,290,029	7,290,029
リース資産	76,557	23,046
減価償却累計額	△5,751	△2,203
リース資産(純額)	70,805	20,842
建設仮勘定	—	19,391
有形固定資産合計	14,763,761	14,674,354
無形固定資産	484,400	483,519
投資その他の資産		
投資有価証券	599,844	587,764
繰延税金資産	551,137	565,124
差入保証金	999,337	1,004,351
その他	242,594	244,289
投資その他の資産合計	2,392,913	2,401,529
固定資産合計	17,641,075	17,559,404
資産合計	21,583,186	21,024,604

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,774,402	3,290,362
短期借入金	4,785,000	3,683,500
1年内返済予定の長期借入金	2,654,036	3,104,373
未払法人税等	12,745	38,736
賞与引当金	171,303	124,883
ポイント引当金	37,576	37,550
その他	863,718	969,336
流動負債合計	11,298,781	11,248,741
固定負債		
長期借入金	6,690,366	6,225,516
退職給付引当金	764,362	738,113
役員退職慰労引当金	148,477	146,100
その他	112,955	69,651
固定負債合計	7,716,160	7,179,380
負債合計	19,014,941	18,428,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	882,223	910,319
自己株式	△149,708	△149,708
株主資本合計	2,624,042	2,652,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△54,402	△55,655
繰延ヘッジ損益	△1,394	—
評価・換算差額等合計	△55,797	△55,655
純資産合計	2,568,244	2,596,482
負債純資産合計	21,583,186	21,024,604

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	10,885,387	9,736,647
売上原価	8,194,997	7,331,655
売上総利益	2,690,390	2,404,991
営業収入	136,270	130,364
営業総利益	2,826,660	2,535,355
販売費及び一般管理費		
販売促進費	200,564	195,749
消耗品費	68,443	96,413
運賃	82,121	78,444
賃借料	55,849	48,667
地代家賃	242,296	232,433
修繕維持費	113,631	95,577
給料手当及び賞与	1,048,945	1,024,271
福利厚生費	141,765	135,615
賞与引当金繰入額	98,130	41,205
退職給付費用	36,298	27,728
役員退職慰労引当金繰入額	2,426	2,377
水道光熱費	234,235	204,553
減価償却費	165,326	143,385
その他	160,290	142,898
販売費及び一般管理費合計	2,650,322	2,469,321
営業利益	176,338	66,034
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,485	880
持分法による投資利益	5,542	5,110
補助金収入	—	27,700
その他	7,006	9,727
営業外収益合計	14,034	43,420
営業外費用		
支払利息	93,566	89,584
その他	3,558	2,984
営業外費用合計	97,125	92,569
経常利益	93,246	16,885
特別損失		
固定資産除却損	7,314	11,322
その他	123	—
特別損失合計	7,437	11,322
税金等調整前四半期純利益	85,809	5,562
法人税、住民税及び事業税	7,424	5,685
法人税等調整額	24,172	2,856
法人税等合計	31,597	8,541
四半期純利益又は四半期純損失(△)	54,212	△2,979

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	85,809	5,562
減価償却費	178,166	177,689
有形固定資産除却損	96	6,184
貸倒引当金の増減額(△は減少)	276	465
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,842	26,249
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,426	2,377
受取利息及び受取配当金	△1,485	△880
支払利息	93,566	89,584
売上債権の増減額(△は増加)	△22,922	△12,783
たな卸資産の増減額(△は増加)	109,915	△105,807
仕入債務の増減額(△は減少)	619,084	△515,960
未払金の増減額(△は減少)	30,939	△137,359
前受金の増減額(△は減少)	3,730	14,449
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,262	△21,997
その他	163,365	73,413
小計	1,233,864	△398,814
利息及び配当金の受取額	982	1,078
利息の支払額	△97,981	△111,871
法人税等の支払額	△17,001	△24,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,119,863	△534,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△93,000	△473,000
定期預金の払戻による収入	73,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△10,892	△217,658
無形固定資産の取得による支出	—	△5,893
差入保証金の差入による支出	△803	△610
差入保証金の回収による収入	15,610	5,624
投資有価証券の取得による支出	△2,100	△5,006
投資有価証券の売却及び償還による収入	148	165
その他	△13,090	△1,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,126	△677,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△372,500	1,101,500
長期借入れによる収入	850,000	2,906,700
長期借入金の返済による支出	△787,848	△2,892,187
リース債務の返済による支出	—	△3,553
配当金の支払額	△22,545	△22,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,893	1,089,935
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	755,843	△122,071
現金及び現金同等物の期首残高	1,009,460	976,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,765,304	854,048

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。